TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

2027年3月期　中間期
決算説明資料

円谷フィールズホールディングス株式会社

東証プライム市場
証券コード　2767

2026年11月

2027年3月期 中間期 業績概況

連結業績

- 概要：「グループ中期経営計画FY2026-2028」の初年度として、成長戦略の着実な実行と事業基盤の一層の強化に取り組んでいる。当中間連結会計期間においては、各施策の展開が順調に進捗した結果、業績は概ね計画どおりに推移し、中期経営計画の達成に向けた道筋をより一段と確実なものとしている。
- 実績：売上高896.2億円（前年同期比6.6%減）、営業利益117.4億円（同13.6%減）。

コンテンツ＆デジタル事業セグメント

- 概要：（株）円谷プロダクションは、本年5月に公表した「グループ中期経営計画FY2026-2028」に基づき、4つの分野（国内MD（物販、国内商品化ライセンス、国内企業広告、中国市場）での構造改革を推進しており、各分野において段階的な成果が発現しつつある。
- 実績：売上高71.6億円（前年同期比4.9%減）、営業利益17.5億円（同134.7%増）。

アミューズメント事業セグメント

- 概要：フィールズ（株）は、遊技機販売において、有力IPを搭載した複数タイトルの好調な販売に加え、パチンコ・パチスロ双方で高い稼働と支持を獲得している『東京喰種』シリーズの増産需要に着実に対応した。当連結会計期間の販売台数は約13.7万台（前年同期比13.8%減）となったが、通期計画に対する営業利益の進捗率は54.9%と、通期計画の達成に向け順調に推移している。
- 実績：売上高817.3億円（前年同期比6.9%減）、営業利益120.7億円（同17.7%減）。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

2027年3月期 中間期 [連結P/L]

（単位：億円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率	通期予想（7月27日）	進捗率
売上高	959.5	**896.2**	△6.6%	2,053.0	43.7%
売上総利益	243.8	**215.9**	△11.4%	-	-
販売管理費	107.8	**98.4**	△8.7%	-	-
営業利益	135.9	**117.4**	△13.6%	225.0	52.2%
（営業利益率）	(14.2%)	(13.1%)		(11.0%)	
経常利益	139.0	**119.5**	△14.0%	226.5	52.8%
親会社株主に帰属する中間(当期)純利益	95.5	**82.1**	△14.0%	150.0	54.8%

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

2027年3月期 中間期 [事業セグメント別P/L]

（単位：億円）

		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率	通期予想（7月27日）	進捗率
コンテンツ＆デジタル事業セグメント	売上高	75.3	**71.6**	△4.9%	190.0	37.7%
	営業利益（営業利益率）	7.4（9.9%）	**17.5**（24.6%）	+134.7%	45.0（23.7%）	39.1%
アミューズメント事業セグメント	売上高	878.2	**817.3**	△6.9%	1,850.0	44.2%
	営業利益（営業利益率）	146.7（16.7%）	**120.7**（14.8%）	△17.7%	220.0（11.9%）	54.9%
その他	売上高	9.0	8.7	△2.9%	-	-
	営業利益	0.0	△0.1	-	-	-
調整額	売上高	△3.1	△1.5	-	-	-
	営業利益	△18.3	△20.7	-	-	-

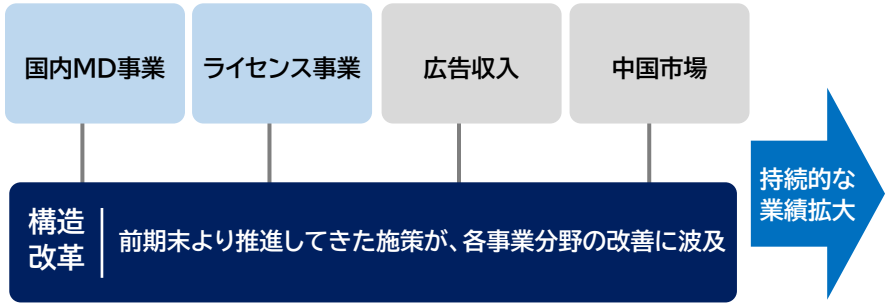
※千万円未満は切り捨てて表示しています。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

各事業セグメント　中間期実績

構造改革の進捗状況

構造改革の成果が各事業分野で着実に発現



グループ中期経営計画の重点施策を着実に実行

主な事業概況

① 国内MD（物販）

- 本中期経営計画での新たな収益の柱として、Z世代等をターゲットとした商品企画、開発・生産・流通体制および多店舗展開に向けた体制構築を進めている。
- 7月開業の直営店「ULTRA MART TOKYO」（原宿店）では、IPホルダーとのコラボ商品等が新たな顧客層に支持され、計画通りの立ち上がりとなった。

② 国内商品化ライセンス

- 個別案件対応型から、重点顧客・カテゴリーに年間を通じて提案する「アカウント型営業組織」への転換を進めている。食品・雑貨・玩具等の新規カテゴリーへの展開により、国内ライセンス収入は前年同期比約60%増となった。
- ㈱バンダイ向けは前年並みの推移に留まる。今後は同社とのより強いパートナーシップのもと収益拡大を図る。

③ 国内企業広告

- 法人営業改革と広告代理店との業務提携を進めており、新規開拓により案件獲得が進展した。広告代理店との業務提携は初期段階にあり、今後は更なる新規案件獲得とシナジー創出に取り組む。

  上記の国内事業は各施策の効果とコスト効率化により、前年同期比で増収増益となった。

④ 中国市場

- 現地マスターライセンシーとの長年の信頼関係を基盤に、戦略的パートナーシップの一層の深化を進めている。両社の取り組みにより、現地でのブランド価値の維持とライセンス・MD収益基盤の下支えが進んだ。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

2027年3月期 中間期実績

コンテンツ＆デジタル事業

		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率
円谷プロダクション	売上高	47.4	**47.4**	+0.2%
	営業利益	3.6	**15.6**	＋330.5%
その他（デジタルフロンティア等）	売上高	27.9	**24.1**	△13.5%
	営業利益	3.8	**1.9**	△48.6%
合計	売上高	75.3	**71.6**	△4.9%
	営業利益	7.4	**17.5**	＋134.7%

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

円谷プロダクション 事業別実績

（単位：億円）

		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率
ライセンス	売上高	19.8	**22.0**	＋11.2%
	営業利益	11.6	**16.5**	＋42.5%
MD（物販）	売上高	6.1	**6.0**	△1.5%
	営業利益	△3.8	**△1.4**	-
映像・イベント	売上高	16.7	**17.2**	＋3.1%
	営業利益	△0.6	**4.3**	-
合計	売上高	42.7	**45.3**	＋6.2%
	営業利益	7.2	**19.4**	＋169.7%
グローバル・マーケティング(*)	売上高	4.6	**2.1**	△54.8%
	営業利益	△3.5	**△3.8**	-
総合計	売上高	47.4	**47.4**	＋0.2%
	営業利益	3.6	**15.6**	＋330.5%

(*)グローバル・マーケティング：映像作品制作費用、製作委員会への出資金の償却等

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

円谷プロダクション実績

地域別 実績

		2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率
国内	売上高	21.6	**24.2**	＋12.0%
	営業利益	△2.4	**5.1**	-
中国	売上高	17.7	**17.6**	△0.7%
	営業利益	14.1	**14.9**	＋5.9%
アジア	売上高	2.3	**1.5**	△32.4%
	営業利益	△2.5	**△0.3**	-
その他(*1)	売上高	0.9	**1.9**	＋92.7%
	営業利益	△1.9	**△0.2**	-
地域合計	売上高	42.7	**45.3**	＋6.2%
	営業利益	7.2	**19.4**	＋169.7%
グローバル・マーケティング(*2)	売上高	4.6	**2.1**	△54.8%
	営業利益	△3.5	**△3.8**	-
総合計	売上高	47.4	**47.4**	＋0.2%
	営業利益	3.6	**15.6**	＋330.5%

中国売上高 内訳

（単位：億円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率
トイ&ホビー（玩具）	5.5	**8.3**	＋50.3%
ライフスタイル（ファッション・文具等）	4.4	**3.9**	△12.7%
パブリッシング（書籍・出版）	0.1	**0.3**	＋129.9%
FMCG（日用消費財・食品等）	1.7	**0.1**	△93.4%
カードゲーム	1.2	**0.2**	△76.9%
その他（ゲーム・広告等）	1.1	**1.1**	△4.5%
小計	14.4	**14.1**	△1.8%
他社分消去等	△0.2	**△0.8**	-
ライセンス 合計	14.1	**13.3**	△5.7%
MD（物販） 合計	0.0	**0.1**	＋643.3%
映像・イベント 合計	3.5	**4.1**	＋16.6%
売上高合計	17.7	**17.6**	△0.7%
営業利益	14.1	**14.9**	＋5.9%

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。
(*1)その他：欧米・その他
(*2)グローバル・マーケティング：映像作品制作費用、制作委員会への出資金の償却等
(*3)FMCG:Fast Moving Consumer Goods（日用消費財・食品等）

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

成長を牽引するアミューズメント事業

フィールズは、業界唯一のディストリビューターとして、全国34拠点を網羅する強力な販売網を基盤に、有力IPを継続的に確保するIPの獲得・調達力、提携メーカー各社との商品と自社商品（PB）の供給力、ホール経営や集客を多角的に支援する提案力を強みとしている。

01 営業コンサルティング

全ての店舗に対して、コンサルティング、情報提供、アドバイスを通じて幅広い領域で支援する。

02 協業メーカー商品販売

協業メーカーにIPを提案し、開発された優秀な機械を全国市場へ供給する。

03 自社商品販売

IP、人材、開発資源への投資を拡大し、商品性の高い自社商品を全国市場へ供給することで、収益力を高める。

04 ホール空間プロデュース

エース電研による
ホールプロデュースの提案により、
さまざまな領域でぱちんこホールを支援する。

05 プロモーション

機械販売、ぱちんこホール空間だけでなく
プロモーション領域においても
さまざまな提案を実施する。

06 IP関連商品販売

東京喰種、エヴァンゲリオンをはじめとしたIP商品を展開。IP価値の向上とぱちんこホールの集客に貢献する。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

2027年3月期 中間期実績

アミューズメント事業

（単位：億円）

	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期 増減率
売上高	878.2	**817.3**	△6.9%
営業利益	146.7	**120.7**	△17.7%

販売実績

パチンコ販売	6.9万台	**8.7万台**	＋25.3%
パチスロ販売	9.0万台	**5.0万台**	△43.9%
合計	15.9万台	**13.7万台**	△13.8%

※千万円未満は切り捨てて表示しています。
※千台未満は切り捨てて表示しています。

（パチンコ販売）

- 売上高405.8億円（前年同期比37.1%増）、販売台数は8.7万台（同25.3%増）となった。販売タイトル6機種（前年同期は3機種）を市場投入した。

（パチスロ販売）

- 売上高265.9億円（前年同期比41.4%減）、販売台数は5.0万台（前年同期比43.9%減）となった。販売タイトル3機種（前年同期は6機種）を市場投入した。タイトル数の減少については、ホールでの長期稼働やファン満足度向上に資する商品開発を最優先とし、開発・検証期間を十分に確保したため。加えて、高稼働実績を確立しているスパイキーブランドの「L 東京喰種」の増産需要へ対応した。

（主要設備機器事業）

- エース電研は、売上高122.4億円（前年同期比19.8%増）、営業利益14.0億円（同14.0%増）となった。業界トップシェアの地位を強固に維持し、フィールズとの営業連携強化を通じて取引先軒数を着実に拡大させたこと等により、さらなる市場シェアの拡大を実現した。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

2027年3月期 中間期の主な販売機種

	第1四半期	第2四半期
パチンコ	シリーズ新作 4月 P ウルトラマンメビウス デカヘソ 319	新規タイトル 7月 e 無職転生 ～異世界行ったら本気だす～
	シリーズ新作 5月 e バイオハザード6	新規タイトル 8月 e EDENS ZERO ～究極 LT～
	シリーズ新作 6月 e 東京喰種 超デカ 超一撃 ver.	新規タイトル 9月 e アサルトリリィ
	e 東京喰種 （2026年3月期からの継続販売）	e 東京喰種 超デカ 超一撃 ver. （当1Qからの継続販売）
	e 新世紀エヴァンゲリオン ～はじまりの記憶～ （2026年3月期からの継続販売）	P春一番 甘デジ
	e 学園黙示録ハイスクール・オブ・ザ・デッド3	e シン・ウルトラマン 79ver.
	Pクイーンズブレイド奈落 ナナエル79Ver.	
	犬夜叉3.0 大入り 甘SPEC	
	4.2万台	4.4万台（累計 8.7万台）
パチスロ	シリーズ新作 4月 Lパチスロ 機動戦士ガンダム ユニコーン 覚醒 DRIVE	シリーズ新作 7月 L ULTRAMAN 最終決戦
	L 東京喰種（増産）（2025年3月期からの継続販売）	シリーズ新作 8月 スマスロ ストリートファイター6
		L 東京喰種（増産）（2025年3月期からの継続販売）
	2.5万台	2.5万台（累計 5.0万台）
合計	6.7万台	7.0万台（累計 13.7万台）

※自社商品（PB）は、青枠で記載
※シリーズ新作（既存タイトルのシリーズ新作）、新規タイトル（新IP搭載）

パチンコ

＜第1四半期＞


P ウルトラマンメビウス
デカヘソ 319


e 東京喰種
超デカ 超一撃 ver.


e バイオハザード6

＜第2四半期＞


e 無職転生
～異世界行ったら本気だす～


e アサルトリリィ


e EDENS ZERO
～究極 LT～

パチスロ

＜第1四半期＞


パチスロ 機動戦士ガンダム
ユニコーン 覚醒 DRIVE

＜第2四半期＞


L ULTRAMAN
最終決戦


スマスロ
ストリートファイター6

©円谷プロ ©OK!! 製造元／株式会社オッケー
©CAPCOM ©NANASHOW 製造元／株式会社七匠
©石田スイ／集英社・東京喰種製作委員会 販売ブランド／ビスティ
©サンライズ 販売ブランド／ビスティ
©理不尽な孫の手/MFブックス/「無職転生 II」製作委員会 製造元／株式会社EXCITE
©AZONE INTERNATIONAL・acus/アサルトリリィプロジェクト ©WFS ©SHAFT ©Bisty
製造元／株式会社ビスティ
©鳥島ヒロ／講談社 ©鳥島ヒロ／講談社・NTV ©NANASHOW
©円谷プロ ©Eiichi Shimizu, Tomohiro Shimoguchi ©ULTRAMAN製作委員会3 ©OK!!
製造元／株式会社オッケー
©CAPCOM 製造元／株式会社レオスター

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

2027年3月期 第3四半期以降の販売予定機種

	第3四半期以降
パチンコ	シリーズ新作 SMART-PACHINKO GANTZ
	シリーズ新作 e ゴジラ対エヴァンゲリオン～WIND BURST～
	シリーズ新作 P 新世紀エヴァンゲリオン -319 RED-
	e 東京喰種 超デカ 超一撃 ver.（当1Qからの継続販売）
	ノーゲーム・ノーライフ 119Ver.
パチスロ	シリーズ新作 スマスロ モンスターハンターライズ:サンブレイク
	シリーズ新作 Lパチスロ ゴジラ対エヴァンゲリオン 2
	新規タイトル L アサルトリリィ
	新規タイトル L SYNDUALITY Noir
	L 東京喰種(増産)（2025年3月期からの継続販売）
合計	

※自社商品（PB)は、青枠で記載
※シリーズ新作（既存タイトルのシリーズ新作）、新規タイトル（新IP搭載）

パチンコ



SMART-PACHINKO GANTZ



e ゴジラ対エヴァンゲリオン ～WIND BURST～



P 新世紀エヴァンゲリオン -319 RED-

©奥浩哉／集英社 ©OKI! 製造元／株式会社オッケー.
TM & © TOHO CO., LTD. ©カラー 販売ブランド/ビスティ
©カラー／Project Eva. ©カラー／EVA 製作委員会 販売ブランド/ビスティ

パチスロ



スマスロ モンスターハンターライズ:サンブレイク



Lパチスロ ゴジラ対エヴァンゲリオン 2



L アサルトリリィ



L SYNDUALITY Noir

©CAPCOM 製造元／株式会社アデリオン TM & © TOHO CO., LTD. ©カラー 販売ブランド/ビスティ ©AZONE INTERNATIONAL·acus/アサルトリリィプロジェクト ©WFS ©SHAFT ©SPIKY ©CROSSALPHA ©NANASHOW 製造元／株式会社七匠
©SYNDUALITY Noir Committee ©Bandai Namco Sevens Inc. ©SPIKY ©CROSSALPHA 製造元／株式会社エフ

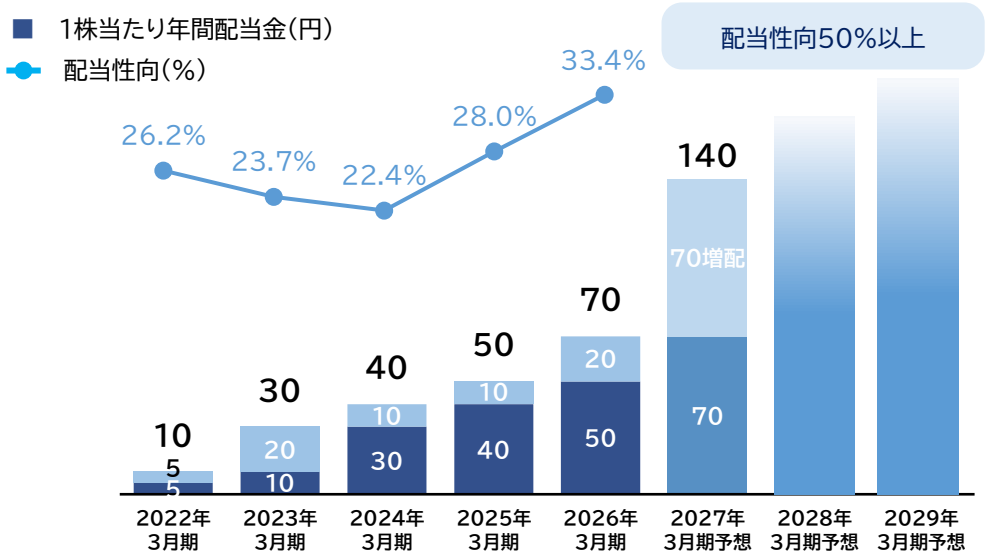
Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

株主還元策

配当方針の変更（株主還元の強化）

■ 新たな方針として配当性向50%以上を基準とする。

年間配当金および配当性向の推移



（単位：億円）

	2022年3月期	2023年3月期	2024年3月期	2025年3月期	2026年3月期	2027年3月期予想	2028年3月期予想	2029年3月期予想
当期純利益	24.7	82.2	116.9	111.5	130.5	150.0	160.0	180.0

特別配当（中間配当）：70円の実施

2027年3月期の年間配当予想

・70円から140円へ増配（特別配当70円 ＋ 期末配当70円）

2027年3月期は、中間配当を特別配当としているが、来期以降は中間配当として継続的に実施する予定。

配当性向50%以上

- 将来の事業展開や経営環境の変化などを勘案のうえ、配当性向50%以上とし安定的かつ継続的な配当を実施していく。

※ 2023年3月22日付で普通株式1株につき2株の株式分割を行っております。2022年3月期以前の1株当たり配当金は、当該株式分割後の基準に換算した金額を記載しております。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

Appendix

2027年3月期 中間期 [連結B/S・C/F]

（単位：億円）

連結B/S	2026年3月末	2026年9月末	対前期末増減額
流動資産	740.8	858.8	+118.0
固定資産	292.7	305.9	+13.2
資産合計	1,033.6	1,164.8	+131.2
流動負債	248.1	329.4	+81.3
固定負債	123.5	128.3	+4.7
負債合計	371.7	457.8	+86.1
純資産合計	661.8	706.9	+45.1
負債純資産合計	1,033.6	1,164.8	+131.2

連結C/F	2026年3月期 中間期	2027年3月期 中間期	対前年同期増減額
営業キャッシュ・フロー	109.0	37.7	△71.3
投資キャッシュ・フロー	△12.1	△24.5	△12.3
財務キャッシュ・フロー	△42.2	△39.4	+2.7
現金及び現金同等物の増減額	54.7	△26.2	△81.0
現金及び現金同等物の期首残高	308.5	308.3	△0.1
現金及び現金同等物の期末残高	363.3	282.0	△81.2

※ 千万円未満は切り捨てて表示しています。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

[再掲]グループ中期経営計画 3ヵ年事業計画

（単位：億円）

	2026年3月期（実績）	グループ中期経営計画 FY2026-2028					
		2027年3月期		2028年3月期		2029年3月期	
		期初予想	修正予想（7月27日）	期初予想	修正予想（7月27日）	期初予想	修正予想（7月27日）
売上高	**1,741.4**	1,870.0	**2,053.0**	1,930.0	**2,153.0**	2,020.0	**2,303.0**
コンテンツ＆デジタル事業	138.7	153.0	**190.0**	205.0	**240.0**	240.0	**290.0**
アミューズメント事業	1,590.6	1,700.0	**1,850.0**	1,710.0	**1,900.0**	1,760.0	**2,000.0**
その他＆調整額	11.9	15.0	**13.0**	15.0	**13.0**	15.0	**13.0**
営業利益	**174.5**	190.0	**225.0**	217.0	**255.0**	250.0	**285.0**
コンテンツ＆デジタル事業	9.3	30.0	**45.0**	37.0	**55.0**	50.0	**65.0**
アミューズメント事業	198.8	200.0	**220.0**	220.0	**240.0**	240.0	**260.0**
その他＆調整額	△33.6	△40.0	**△40.0**	△40.0	**△40.0**	△40.0	**△40.0**
経常利益	**177.5**	191.5	**226.5**	218.5	**256.5**	251.5	**286.5**
親会社株主に帰属する当期純利益	**130.5**	135.0	**150.0**	138.0	**160.0**	155.0	**180.0**

※千万円未満は切り捨てて表示しています。

Copyright 2026 TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS INC. All rights reserved.

TSUBURAYA FIELDS HOLDINGS

免責事項

本資料に掲載されている当社の計画、戦略、予想等は、すでに確定した事実を除き、
潜在的リスクや不確定要素を含んでおり、その内容を保証するものではありません。

潜在的リスクや不確定要素には、当社グループの事業を取り巻く経済環境、
市場における競争状況、取扱商品等が考えられますが、これらに限るものではありません。